



TITLE:

表紙・投稿規定・ニュース・プレ  
プリント案内・掲示板・編集後記  
・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・投稿規定・ニュース・プレプリント案内・掲示板・編集後記・  
目次・裏表紙ほか. 物性研究 1965, 3(6): 461-465

ISSUE DATE:

1965-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/85663>

RIGHT:

昭和40年3月20日発行（毎月1回20日発行）  
物性研究 第3巻第6号

vol. 3 no. 6

# 物性研究

1965 | 3

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

#### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
  2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
  3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスのプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
  4. 図の縮尺はいたしません。図は不必要に大きくせず、それぞれ適当な大きさに画いて下さい。
- 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申し込んで下さい。別刷代は下記の方式により現金で前納していただきます。

P : 400 字詰原稿用紙による頁数

X : 別刷所要部数

別刷代=0.6XP円

#### 購読規定

1. 本誌は「物性研究購読会」の会員にのみ配布します。
2. 「購読会」の会員には個人会員、機関会員の別があります。会費を個人が支払うばあいを個人会員とし、機関が支払うばあいを機関会員とします。
3. 個人会員には入会の際、入会金 100円を納めていただきます。退会の際には入会金はお返ししません。機関会員は入会金を要しません。
4. 会費は月額、個人会員 160円、機関会員 300円とします。
5. 会費は前月中に前納していただきます。会費が前納されなかったときは雑誌の発送を停止し、会費を2ヶ月以上滞納した会員は退会したものとみなします。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

#### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
  2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
  3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスのプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
  4. 図の縮尺はいたしません。図は不必要に大きくせず、それぞれ適当な大きさに画いて下さい。
- 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申し込んで下さい。別刷代は下記の方式により現金で前納していただきます。

P : 400 字詰原稿用紙による頁数

X : 別刷所要部数

別刷代=0.6XP円

#### 購読規定

1. 本誌は「物性研究購読会」の会員にのみ配布します。
2. 「購読会」の会員には個人会員、機関会員の別があります。会費を個人が支払うばあいを個人会員とし、機関が支払うばあいを機関会員とします。
3. 個人会員には入会の際、入会金 100円を納めていただきます。退会の際には入会金はお返ししません。機関会員は入会金を要しません。
4. 会費は月額、個人会員 160円、機関会員 300円とします。
5. 会費は前月中に前納していただきます。会費が前納されなかったときは雑誌の発送を停止し、会費を2ヶ月以上滞納した会員は退会したものとみなします。



1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

#### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
  2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
  3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスのプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
  4. 図の縮尺はいたしません。図は不必要に大きくせず、それぞれ適当な大きさに画いて下さい。
- 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申し込んで下さい。別刷代は下記の方式により現金で前納していただきます。

P : 400 字詰原稿用紙による頁数

X : 別刷所要部数

別刷代=0.6XP円

#### 購読規定

1. 本誌は「物性研究購読会」の会員にのみ配布します。
2. 「購読会」の会員には個人会員、機関会員の別があります。会費を個人が支払うばあいを個人会員とし、機関が支払うばあいを機関会員とします。
3. 個人会員には入会の際、入会金 100円を納めていただきます。退会の際には入会金はお返ししません。機関会員は入会金を要しません。
4. 会費は月額、個人会員 160円、機関会員 300円とします。
5. 会費は前月中に前納していただきます。会費が前納されなかったときは雑誌の発送を停止し、会費を2ヶ月以上滞納した会員は退会したものとみなします。

ができない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもつて決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(補 則)

第7条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の定めるところによる。

附 則

この規則は、昭和40年4月1日から施行する。

制 定 理 由

近年、学問諸分野の発展に伴い自然科学分野のみならず、人文社会科学分野においても大型計算機を利用して能率的に学問の実を上げることができるようになった。このたび本学でもその利用体系を整備するとともに、これを全国の研究者の便に供する目的をもつて全国共同利用の大型計算機センターを置き、昭和40年度第4・4半期から活動するため、その運営委員会の規則に定めるものである。

---

ニ ュ ー ス

---

武野 正三氏（北大理）は本年9月渡米の予定のところ、1965年3月より Cornell 大学の Laboratory of Atomic and Solid State physics (Ithaca, New York) に勤務される。

## プレプリント案内

- o Symmetry Considerations on Martensitic Transformation :  
"Ferroelectric" Metals ? (P.W. Anderson)
- o Diffuse Paramagnetic Neutron Scattering in Chromium  
Spinels (K. Dwight, N. Menyuk and T.A. Kaplan)
- o Determination of Magnetic Ordering in Heisenberg Magnets  
from High-Temperature Expansions (T.A. Kaplan, H.E.  
Stanley, K. Dwight and N. Menyuk)

以上〔芳田研〕

〔北大理論研〕

- o Vacancy as a Phonon Field Perturbation, I-Lattice distortion around a vacancy. (V. Gallone, M. Omini)
- o II-Relaxation energy for vacancies and vacancy pairs. (同 上)
- o III-Phonon Scattering by vacancies and vacancy pairs. (同 上)
- o IV-Free energy change in the harmonic approximation (同 上)
- o V-Entropy change in a two-Debye temperature model (同 上)
- o Theory of Phonon Contribution to Internal Friction of Solids. (G.P. DeVault and J.A.<sup>1</sup> McLennan)

〔京 大〕

- o The Magnetic field dependence of the microwave surface impedance in pure superconductors. (K. Maki)
- o On Surface Superconductivity in the subcritical Region (K. Maki)
- o The Magnetic properties of the intrinsic London Superconductors. (K. Maki, T. Tsuzuki)

## 掲 示 板

### Tokyo Summer Institute of Theoretical Physics の開催について

最近、欧米各国で各種の Summer School が開かれ、年々盛んになつてゐることは周知の通りです。これが後進の養生に役立ち、国際交流の実をあげ、ひいては、理論物理の発展に少なからぬ寄与をしていることは、いうまでもありません。このような計画は、日本でも何度か試みられましたが、経済的理由その他でいまだに実現できませんでした。このたび、我々世話人は、各方面から直接、間接の援助を受け、上記の夏期学校を来る9月中旬に開催できる見通しをつけました。とくに京都国際会議に出席する方のうち、何人かは、この学校で講義することを内諾され、費用の点でも大変助かつております。さらに日本を訪問、又は通過される方々のうち、その時期に歩調をあわせてくれるものもいます。会議の目的は、第1に PhD レベルの若手の教育、第2に自由討論ですが、外国からの有能な学者を何人かまじえ、個人的接触を深めることも特徴です。本年は“Field Theory and Many Body Problem”とし、例年化したい意向です。スケジュールは次に定める通りです。

時 期 1965年9月6日～9月17日

場 所 第1会場…Christian Academy House, 大磯(70名宿泊可能) 3食付1日2,300円。 第2会場…東京の大学, 研究所。

内 容 第1会場は講義とゼミナール。 PhD レベルの学生50～60名と講師及び内外の訪問客。 第1週(9.6～9.10)は物性。 第2週(9.13～9.17)は素粒子とし、出席者のほとんどは交代。

第2会場は、適宜開催し、一般講演や研究会に当てる予定。

世話人グループ 福田 信之(教育大, Secretary), 久保 亮五(東大), 松原 武生(京大), 宮沢 弘成(東大), 中嶋 貞雄(物性研), 南部陽一郎(シカゴ大), 武田 暁(東北大)  
事務局は教育大物理教室(福田)に置きますが、連絡は世話人のどなたでも結構です。



## 掲 示 板

外国からの出席予定者 (underline 講師予定者)

確実又はほぼ確実… K.A. Bruckner, E.R. Caianiello, G.F. Chew,

M. Gell-Mann , M.L. Goldberger, R.E. Marshak,

Y. Nambu, Y. Ne'eman, D. Pines ,

目下交渉中… Schrieffer, de Genne, Anderson, Frantschi,

Bogoliubov, Glashow, Kohn, Yang などです。このうち又

は他から数名ぐらい出席出来ると期待しています。

財 源 主として寄附に頼ります。藤田由夫委員長（内諾）のもとに募金委員会ができます。学術振興会が募金の Channel を承諾し、日本物理学会が協賛してくれる予定です。

以上のとおり、関係者の皆さんにお知らせします。この計画について皆さんの御協力をお願い申し上げると共に、御意見や御批判があれば、世読人のどなたかにお知らせ下さい。

1965年 1月 20日

世話人一同

## 「名古屋大学工学部力学講座助教授・助手公募」

1964年度に、名古屋大学工学部に共通講座として、一般力学講座が新設されました。これは教育上は工学部の学生に一般力学の講義をするために設けられたものです。1965年4月より私（現在理学部物理教室在任）がこの講座の教授になる予定です。私と応用物理学教室との相談の結果、講座の運営その他、応用物理学教室と協同行なう予定にしております。

講座の研究範囲は、統計力学、物性理論で、応用物理教室の志水研究室（メンバー：志水、木村、林、勝木）及び理学部物理教室のS研（有山、吉森、山田、柏村、服部、私も現在はここに所属）とは、密接な関連をもつて、研究活動を行なっていくことを期待しております。

この講座の助教授1名、助手2名を求めたいので、応募して下さい。必要事項を次に記します。

- (1) 応募期限      4 月    1 0 日  
(2) 提出書類      履歴書，研究歴，論文リスト，論文別刷，研究計画  
(3) 提 出 先      名古屋市千種区不老町

名古屋大学理学部 物理教室

中 野 藤 生

以上です。

中野 藤生

### 編 集 後 記

発行がおくれて申訳ありません。研究会報告を入れようとしたのが多少無理でした。研究会の後始末は誰しも気の進まないものがありましよう。第三者から見て世話人の御苦勞があまりに多かつたように感じられます。研究会の性格についての若手の御意見をどしどしお寄せ下さい。

### 物 性 研 究 第 3 卷 第 6 号

---

1965年3月20日発行(300円)

発 行 人    碓 井 恒 丸

印 刷 者    倉 本 作 雄  
            京都市左京区岡崎徳成町1-1

発 行 所    物性研究刊行会  
            電話(77)8111 内線983  
            振替 京 都    5312  
            京都市左京区 北白川 追分町  
            京都大学 湯川記念館内

---

- (1) 応募期限      4 月    1 0 日  
 (2) 提出書類      履歴書，研究歴，論文リスト，論文別刷，研究計画  
 (3) 提 出 先      名古屋市千種区不老町

名古屋大学理学部 物理教室

中 野 藤 生

以上です。

中野 藤生

## 編 集 後 記

発行がおくれて申訳ありません。研究会報告を入れようとしたのが多少無理でした。研究会の後始末は誰しも気の進まないものがありましよう。第三者から見て世話人の御苦勞があまりに多かつたように感じられます。研究会の性格についての若手の御意見をどしどしお寄せ下さい。

## 物 性 研 究 第 3 卷 第 6 号

1965年3月20日発行(300円)

発 行 人    碓 井 恒 丸

印 刷 者    倉 本 作 雄  
 京都市左京区岡崎徳成町11

発 行 所    物性研究刊行会  
 電話(77)8111 内線983  
 振 替 京 都    5312  
 京都市左京区北白川追分町  
 京都大学湯川記念館内

- (1) 応募期限      4 月    1 0 日  
 (2) 提出書類      履歴書，研究歴，論文リスト，論文別刷，研究計画  
 (3) 提 出 先      名古屋市千種区不老町

名古屋大学理学部 物理教室

中 野 藤 生

以上です。

中野 藤生

## 編 集 後 記

発行がおくれて申訳ありません。研究会報告を入れようとしたのが多少無理でした。研究会の後始末は誰しも気の進まないものがありましよう。第三者から見て世話人の御苦勞があまりに多かつたように感じられます。研究会の性格についての若手の御意見をどしどしお寄せ下さい。

## 物 性 研 究 第 3 卷 第 6 号

1965年3月20日発行(300円)

発 行 人    碓 井 恒 丸

印 刷 者    倉 本 作 雄  
 京都市左京区岡崎徳成町1-1

発 行 所    物性研究刊行会  
 電話(77)8111 内線983  
 振替 京 都    5312  
 京都市左京区 北白川 追分町  
 京都大学 湯川記念館内

## 目 次

重力場がプラズマの集団運動にあたえる影響……………横 田 万 里 夫	371
Hard Superconductor の Uppercritical Field に関する簡単なコメント……………都 築 俊 夫	373
講義ノート	
統計力学(Ⅳ)……………久 保 亮 五	378
研究会報告	
基研「二次相転移及び不可逆過程の基礎理論研究会」……………	413
Ⅰ ディスカッションとまとめ……………	414
Ⅱ 報告者のレポート……………	421
Ⅲ 感 想……………	448
世話人の記……………	450
ひろば	
基研研究部員選挙規則改正の提案……………中 嶋 貞 雄	
町 田 茂、田 中 一	452
Physics Abstracts よりみたプロGRESS	
およびジャーナルの論文数……………森 田 正 人	453
「国際夏の学校」開催に対する危惧……………物性若手グループ事務局	456
資 料	
「東京大学大型計算機センター規則」他……………	459
ニュース……………	461
プレプリント案内……………	462
掲 示 板	
Tokyo Summer Institute of Theoretical Physics の開催について……………	463
名古屋大学工学部力学講座公募……………	464
編集後記……………	465



## 目 次

重力場がプラズマの集団運動にあたえる影響.....	横 田 万 里 夫	371
Hard Superconductor の Uppercritical Field に関する簡単なコメント.....	都 築 俊 夫	373
講義ノート		
統計力学(IV).....	久 保 亮 五	378
研究会報告		
基研「二次相転移及び不可逆過程の基礎理論研究会」.....		413
I ディスカッションとまとめ.....		414
II 報告者のレポート.....		421
III 感 想 .....		448
世話人の記 .....		450
ひろば		
基研研究部員選挙規則改正の提案.....	中 嶋 貞 雄	
町 田 茂, 田 中 一		452
Physics Abstracts よりみたプロGRESS		
およびジャーナルの論文数.....	森 田 正 人	453
「国際夏の学校」開催に対する危惧.....	物性若手グループ事務局	456
資 料		
「東京大学大型計算機センター規則」他.....		459
ニュース .....		461
プレプリント案内 .....		462
掲 示 板		
Tokyo Summer Institute of Theoretical Physics の開催について.....		463
名古屋大学工学部力学講座公募.....		464
編集後記.....		465